



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	20,531	18.5	1,848	51.9	1,921	56.9	1,112	67.5
29年6月期第3四半期	17,322	△1.1	1,217	12.5	1,224	25.0	664	124.6

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 1,278百万円 (16.7%) 29年6月期第3四半期 1,095百万円 (662.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	89.74	89.74
29年6月期第3四半期	53.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	22,705	14,573	62.7
29年6月期	19,684	13,216	65.7

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 14,247百万円 29年6月期 12,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,953	13.6	2,055	19.0	2,091	24.8	1,140	24.5	92.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	12,790,000株	29年6月期	12,390,000株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	4,413株	29年6月期	4,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	12,395,844株	29年6月期3Q	12,385,632株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善及び設備投資の持ち直しによって緩やかな回復基調で推移いたしました。海外においては、米国及びヨーロッパ経済は引き続き堅調に推移し、中国やインド等のアジア経済は高い成長率を維持しております。しかしながら金融市場や政治・経済をめぐる先行き不透明感が強く、地政学リスクの高まりなど留意すべき状況が続いております。

当社グループにおいては、主力の部品セグメントでは、スマートフォン向け部品が、若干の鈍化傾向が見られたものの予測を上回る受注を確保し、また自動車電装向け部品も堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、主力スマートフォン部品の生産効率の向上、および高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進め、収益の向上に努めてまいりました。また、今後の当社ビジネスの基盤強化及び事業の拡大を目的とした成長領域への投資資金調達のため、第三者割当による行使価値修正条項付新株予約権の発行を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高205億3千1百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は18億4千8百万円（前年同期比51.9%増）、経常利益は19億2千1百万円（前年同期比56.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億1千2百万円（前年同期比67.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け金型、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は、スマートフォン部品用や車載部品用金型の販売が貢献し、自動車電装向け金型も堅調な実績となった結果、当セグメントの売上は前年同期比で増加に転じました。しかし、インドネシア子会社は主に自動車関連金型の受注が計画を下回り利益が減少しました。

その結果、売上高は12億3千4百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は2億4千6百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品は、全般的に高い需要が継続したことに加え季節要因による減少が小幅となったことで計画を上回り、自動車電装向け部品も安定市場を背景に堅調な実績となった結果、当セグメントの売上および利益は前年同期比で増加しました。

その結果、売上高は160億2百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は19億1千7百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は、車載関連装置、医療関連装置ともに得意先の増設計画に倣った内容で増加し、医療器具も市場の高い需要を背景に堅調な実績となった結果、当セグメントの売上および利益は前年同期比で増加しました。

その結果、売上高は32億8千6百万円（前年同期比32.3%増）、セグメント利益は4億1千万円（前年同期比18.6%増）となりました。

④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は7百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は3千1百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の財務状態につきましては、流動資産は106億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3千8百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が6億8千7百万円、仕掛品が3億円、原材料及び貯蔵品が1億5千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は120億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億8千2百万円増加しました。これは主に有形固定資産が12億6千9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は60億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千万円増加しました。これは主に買掛金が3億4千4百万円、短期借入金が4億1千8百万円増加したことによるものであります。固定負債は20億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2千3百万円増加しました。これは主に長期借入金が5億2千8百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は145億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5千7百万円増加しました。これは利益剰余金が9億7千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.7%（前連結会計年度末は65.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。従いまして、現時点におきましては、平成30年2月13日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,891	1,887,535
受取手形及び売掛金	4,952,198	5,639,406
商品及び製品	199,246	316,457
仕掛品	901,862	1,202,160
原材料及び貯蔵品	1,001,806	1,159,067
その他	369,691	437,496
流動資産合計	9,003,697	10,642,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,724,129	3,661,335
機械装置及び運搬具（純額）	3,172,118	3,603,310
土地	1,439,313	1,439,313
その他（純額）	463,034	1,364,400
有形固定資産合計	8,798,596	10,068,360
無形固定資産	60,337	80,115
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715,357	1,787,933
その他	107,589	127,920
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,821,810	1,914,717
固定資産合計	10,680,744	12,063,193
資産合計	19,684,442	22,705,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,108,957	2,453,095
短期借入金	1,348,333	1,766,651
1年内返済予定の長期借入金	300,780	428,171
未払法人税等	304,974	415,195
賞与引当金	107,205	359,038
役員賞与引当金	26,900	21,000
その他	709,543	603,632
流動負債合計	4,906,693	6,046,784
固定負債		
長期借入金	228,288	756,662
長期未払金	452,900	431,624
退職給付に係る負債	834,126	850,809
その他	45,762	45,544
固定負債合計	1,561,077	2,084,640
負債合計	6,467,771	8,131,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,652,200
資本剰余金	1,379,280	1,471,308
利益剰余金	9,251,515	10,227,723
自己株式	△1,130	△1,185
株主資本合計	12,064,965	13,350,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,122	829,566
為替換算調整勘定	126,900	114,082
退職給付に係る調整累計額	△53,097	△46,327
その他の包括利益累計額合計	871,925	897,321
新株予約権	—	12,000
非支配株主持分	279,779	314,525
純資産合計	13,216,670	14,573,893
負債純資産合計	19,684,442	22,705,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	17,322,785	20,531,283
売上原価	14,776,550	17,343,499
売上総利益	2,546,235	3,187,784
販売費及び一般管理費	1,329,008	1,338,962
営業利益	1,217,226	1,848,822
営業外収益		
受取利息	5,399	6,907
受取配当金	16,595	23,286
受取賃貸料	4,393	5,172
スクラップ売却益	7,863	8,349
為替差益	—	53,609
その他	5,898	7,460
営業外収益合計	40,149	104,786
営業外費用		
支払利息	21,034	23,511
為替差損	8,496	—
支払補償費	—	2,351
その他	3,151	6,017
営業外費用合計	32,682	31,880
経常利益	1,224,694	1,921,728
特別利益		
固定資産売却益	916	9,994
その他	—	0
特別利益合計	916	9,994
特別損失		
固定資産売却損	8,829	11,682
固定資産除却損	3,327	14,520
特別損失合計	12,157	26,203
税金等調整前四半期純利益	1,213,453	1,905,519
法人税、住民税及び事業税	517,056	724,498
法人税等調整額	△82,054	△92,935
法人税等合計	435,001	631,563
四半期純利益	778,452	1,273,955
非支配株主に帰属する四半期純利益	114,309	161,506
親会社株主に帰属する四半期純利益	664,143	1,112,449

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日）
四半期純利益	778,452	1,273,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324,989	31,443
為替換算調整勘定	△13,104	△34,335
退職給付に係る調整額	4,823	6,955
その他の包括利益合計	316,708	4,064
四半期包括利益	1,095,160	1,278,019
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	985,805	1,137,845
非支配株主に係る四半期包括利益	109,354	140,174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴い新株の発行を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が216,900千円、資本準備金が216,900千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,652,200千円、資本準備金が1,656,633千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成29年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,201,353	13,630,539	2,483,266	17,315,160	7,625	17,322,785	—	17,322,785
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	461,002	△333,525	144,426	271,903	54,900	326,803	△326,803	—
計	1,662,355	13,297,014	2,627,693	17,587,064	62,525	17,649,589	△326,803	17,322,785
セグメント利益	281,324	1,321,533	346,076	1,948,934	28,785	1,977,720	△760,494	1,217,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△760,494千円には、セグメント間取引消去△17,973千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△755,996千円、棚卸資産の調整額23,795千円及びその他の影響額△10,320千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年7月1日至平成30年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,234,733	16,002,317	3,286,503	20,523,555	7,728	20,531,283	—	20,531,283
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	470,338	△347,694	207,982	330,625	54,900	385,525	△385,525	—
計	1,705,071	15,654,623	3,494,486	20,854,181	62,628	20,916,809	△385,525	20,531,283
セグメント利益	246,569	1,917,964	410,287	2,574,821	31,498	2,606,319	△757,497	1,848,822

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△757,497千円には、セグメント間取引消去△18,680千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△731,490千円、棚卸資産の調整額2,979千円及びその他の影響額△10,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。